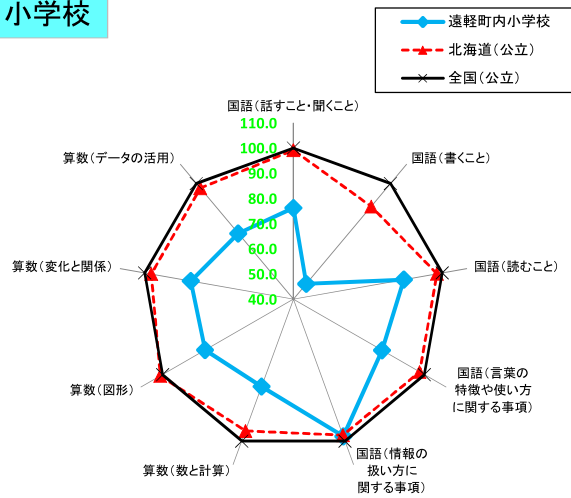


■遠軽町内の状況及び学力向上策（小学校数:8校、児童数:149人）（中学校数:7校、生徒数:118人）

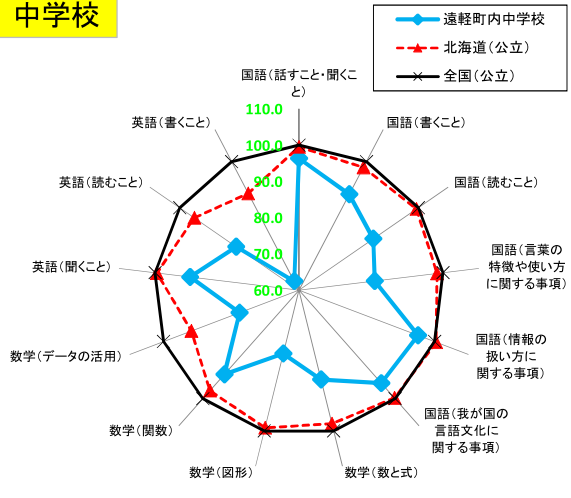
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの（市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

小学校

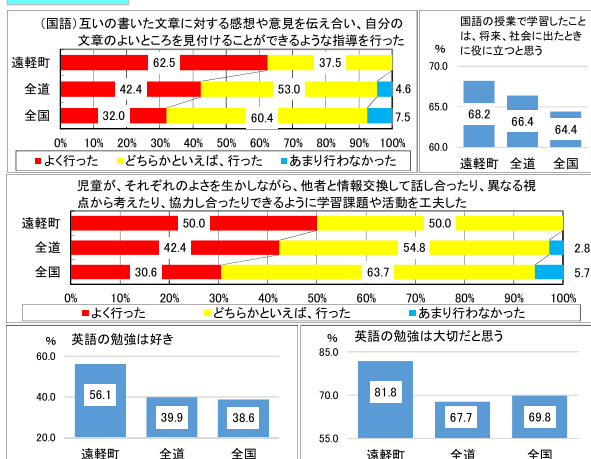


中学校

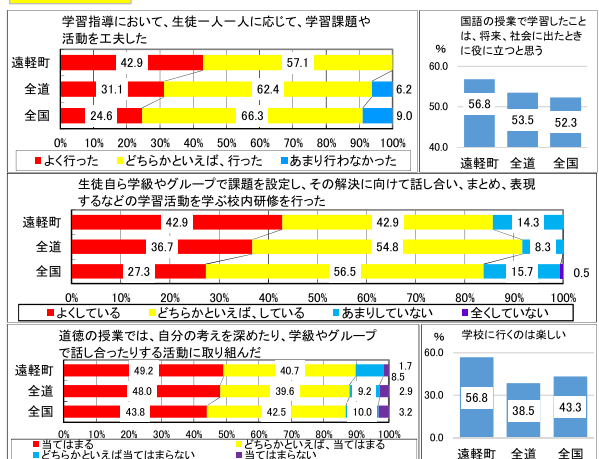


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の授業において、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回るとともに、国語では、「情報の扱いに関する事項」で全国の平均正答率に最も近くなっていると考えられる。

授業において、英語指導助手を配置し、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫したことにより、授業改善が図られ、英語の授業が好き、英語の勉強は大切だと思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫したことにより、授業改善が図られ、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」の領域で全国の平均正答率に最も近くなっていると考えられる。

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行ったことにより、授業改善が図られ、道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回るとともに、学校に行くのは楽しいと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 家庭と連携した学習の習慣化と規則正しい生活づくりの推進
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置
- ◎ 確かな学力の育成・定着を図るための教育用ICT機器の活用